



第145号

(発行所)

真宗大谷派

松岡山 廣讚寺

中村区城屋敷町3-30

TEL (052) 411-5301

FAX (052) 411-5341

携帯 090-1568-4623

<E-mail>

matsuoka@kosanji.or.jp

## 無力

なによりも、ごぞことし、老少男女おおくのひとびとのしにあいて候うらんことこそ、あわれにそうらえ。

ただし、生死無常のことわり、くわしく如来のときおかせおわしましてそうろううえは、おどろきおぼしめすべからずそうろう。  
(『末燈鈔』)

### 【現代語訳】

去年、今年と老若男女たくさんの方が亡くなっています。本当にさびしく、また、はかなく思う。

けれども、生死無常の道理は、すでに詳しく如来の説いておられるところであるから驚くことではない。

この文章は、

親鸞聖人八十

八歳の時に関

東で大規模な

疫病・飢餓が

あり、その時

に弟子の乗信

御房に送った

手紙である。

平均寿命が約

二十五歳だっ

たといわれる

時代に疫病がおこったのである。ひとたび疫病が発生すれば誰もが死とは隣り合わせであった。

そして現在、新型肺炎が世界中に拡がり、我々も他人事ではなく、だんだんと自分事となってきた。今のところ、いくら医学が発展しても今回のコロナウイルス



スを目の前に医師は何もできない。今後どうなるか  
まったくわからない状況である。コロナウイルスがど  
んなものであるかもまだ解明されていない。いろいろ  
な情報が飛び交う。デマも飛び交い、それに乗っかか  
る人のさまを見ると、現代において科学は発展してい  
るが人間自体はまったく発展していないことに気づか  
された。

せきを聞くとにらみつけ、せきをするとにらまれる。  
そんな殺伐とした雰囲気になってきた。少し体調が悪  
いと感染しているかと不安になり、誰か体調が悪そう  
だと遠ざかりたくなる、そんな心がかよわない思いが  
自分を孤独にしてさらに不安を強めていく。

自分だけではなく世界中がそのような不安になって  
いる。世界経済も混乱を極めている。ひよつとしたら  
これをきっかけに世界大恐慌が起こるのではないかと  
いう声も出てきた。

今まで日本はとりあえず安全、安心と思いながら生  
きてこられたかもしれないが、いよいよ今、現在、そ  
の危険、不安に激変した。

親鸞聖人の弟子である乗信御房もそんな危険、不安  
を感じて親鸞聖人に教えを乞い願ったのであろう。そ  
して親鸞聖人は人間のはかなさを語られ、これこそお  
釈迦様が説かれた無常なのだと言われた。

続いてこのように語られる。わたくし親鸞はいつ、  
どこで、どのような死を迎えるのかを問題とはしない。  
ただ仏の教えを信じ阿弥陀如来のはからいにおまかせ  
する、と。

もうなんともならなくなったときこそ親鸞聖人のこ  
とば、お釈迦様のことばにうなずける。そしてそこよ  
りさきに行けば阿弥陀如来の大悲につつまれるのであ  
る。

## 衆生縁

釋 綽智

地球の温暖化が進んでいる。大寒になっても霜も見  
ず暖冬の気配にたすかる人もあるがその反対もある。  
各地のスキー場では雪不足で開場が遅れて嘆いている  
し、オーストラリアでは全土に及ぶ森林火災のニュー  
スは温暖化による陸地の砂漠化等、私たちの住む環境  
の破壊が確実に進んで人間生活をおびやかし不安がつ



のる今頃です。大寒の日の前に廣讚寺で定例の学習会  
があり今回は久しぶりに別院より田中智教氏が講師と  
してお話をされました。

今日は前回の「大悲」に続き小慈小悲の「小悲」を  
テーマとして法話をいただく。小悲というレジュメを  
読みながら、ときどき私たちの反応を見ながら進めら  
れたので始めは難解でしたが少し解説を入れられたら  
わかるようになった。レジュメは耳が不自由になつて  
きたので本当にたすかります。法話の中で特に私の気  
持ちがゆさぶられたところをお伝えします。

慈悲に三縁あり、それは衆生縁・法縁・無縁です。

今日の小慈は衆生縁ですね。これはすべての人を救い  
とるといふ有難い阿弥陀様のお救いなのです。しかし  
どんな人でもですかと質問が出ると「阿弥陀の本願を  
信ずる人すべて」という意味ですとこたえられました。  
親鸞聖人の和讃に「小慈小悲もなき身にて、有情利益

はおもうまじ、如来の願船いまさずは、苦海をいかでかわたるべき」これは如来の助け船（本願）を信じないでどうやって人を救えましょう。凡夫が人を救うことはできませんという聖人の教えです。

「是非しらず、邪正もわからぬこの身なり、小慈小悲もなければ、名利に人師をこのむなり」これは衆生を救う慈悲を持ち合わせていないのに自力をたのんでがんばって自分を大きく見せようとする私たちを言い当てています。

田中智教氏  
にはお忙しい  
中を私たちの  
教化のために  
来寺いただき  
心から感謝い  
たします。



## 行事予定

四月二日(木) 常任委員会 ※中止

十一日(土) 同朋委員会・例会 ※中止

十九日(日) 学習会 ※中止

二十八日(火) おみがき ※中止

五月五日(祝) 復興永代経執行

※中止予定

九日(土) 七時半 同朋委員会・例会 ※未定  
(役員は七時)

十九日(火) 二時 学習会 ※未定

二十八日(木) 十時 二十八日講・女人講

(コロナウイルス集団感染予防のため、四月に予定されていた常任委員会、同朋会バス団参、おみがきは中止、五月の復興永代経も中止の方向で検討中。もし収束状況が好転し執行できるとなりましたら告知いたします。)